

合併・増員市議選で 9人の議員団に

願いと実現と 不安の解決へ がんばります

「合併でくらしはどうなるのか」と多くの不安がよせられるなか、4月の増員市議選では、新たに2名の日本共産党候補が当選。党議員団は9名となりました。あたえていただいた力を存分にいかし、日本共産党はみなさんの願いの実現に全力をつくします。

日本共産党



やまだ しゅういち
山田 修一

党市議団団長。市議9期、市議会副議長などを歴任。63歳。
活動地域：入舟地区、古町地域



あけと かずえ
明戸 和枝

黒埼町議を経て市議2期目、市民厚生常任委員長などを歴任。50歳。
活動地域：黒埼、関屋、小針など



わたなべ ゆうこ
渡辺 有子

市議2期、文教経済常任委員長など。新潟医療生協理事。55歳。
活動地域：曾野木、両川、鳥屋野、大江山



しぶや めいじ
渋谷 明治

党市議団副団長。市議8期、文教経済常任委員長など。66歳。
活動地域：中地区



いまい
今井ヨシイ

市議8期、市民厚生常任委員長、監査委員などを歴任。61歳。
活動地域：内野、赤塚、西地域



かしわ かずつぐ
柏 一二

白根市議5期。白根郷土地改良区総代などを歴任。56歳。
活動地域：白根地域



すずき かつお
鈴木 克夫

党市議団幹事長。市議4期、新潟医療生協常任理事。48歳。
活動地域：木戸、石山、大形など



めざき りょうじ
目崎 良治

市議3期、文教経済常任委員長などを歴任。62歳。
活動地域：駅前、駅南、北地区、山湯



こやま てつお
小山 哲夫

新津市議2期。国労地方本部青年部長などを歴任。48歳。
活動地域：新津地域



合併の不安
困りごと、生活相談

なんでも
ご相談ください

電話 025-226-3125(直通)
FAX 025-223-7748
E-Mail info@jcp-niigata-shigidan.com

新・新潟市の
予算議会

みなさんの願いが前進しました

2月議会では、合併後の新しい新潟市の予算を決めました。これまでの市民運動や議会での論戦がみのり、さまざまな施策が前進しました。

10月に非核平和都市宣言

非核平和都市宣言は、平和を願う市民の20年来の課題でした。当初案は「非核」抜きでしたが、党議員団の要求で「非核」をふくむ宣言となる予定です。

個人住宅の耐震化を助成

木造個人住宅に、耐震診断、設計・改修の費用を助成する制度がスタートしました。「大地震の確率が低い」と拒む当局を追及し、実現させた制度です。

市民健診がいっそう充実

40歳と50歳だけだった成人歯科健診の対象が、40、50、60、70歳まで広げられました。



図書館司書を全校に配置

市民や教職員の運動で、旧新潟市の小中学校全校に配置されていた図書館司書が、吸収合併された市町村の全校に広げられることになりました。

新・新潟市の 新年度予算

市民の願いをよそに、大型開発推進へ

「拠点性の向上」の名のもと 市中心部の大型開発つぎつぎ

新潟市がすすめる新潟駅連続立体交差事業は、駅改築などで705億円。線路を上にあげ、その下に道路を通す周辺整備を含めると、約2000億円の巨大大事業です。

いまだに財源の見通しがなく、合併市町村のまちづくりの財源（合併特例債）を注ぎ込むことまで検討する事態なのに、480億円ともいわれる新幹線の空港乗り入れ構想まで復活。「拠点性の向上」を理由に、市中心部への集中的な公共投資がいきなりすすもうとしています。

その一方で

市民からは国保証を取り上げ 福祉施設の増設も先送り

リストラされ、無保険のまま医者にも行けず、ぜんそく発作で急死…。こんな痛ましい事件が、市内で起こりました。それなのに新潟市は、国民健康保険料引き下げの予算を今年から全廃し、保険料がはらえない市民からの保険証取り上げをいっそう推進しようとしています。

旧新潟市の学童保育は、施設がせまく満杯状態。1か所・2000万円～3000万円で増設できるのに、「財源がない」と見送りつづけています。

福祉と医療、教育の充実こそ市民の願い

市民いじめに反対し、 くらしを守る政治をめざします。

日本共産党

国の負担増政策に反対し、市民のくらしを守ることこそ、市民にもっとも身近な新潟市が果たすべき役割です。ところが新潟市は、「政策の選択と集中が必要」と市がやるべき仕事を市民に押しつける一方、市民サービス切りすてをすすめながら、大型開発を推し進めようとしています。

党議員団は、「市民いじめ」の予算に反対。税金の使い方を改革し、福祉と医療、教育に手厚く予算を配分することをもとめました。

詳しくは党議員団のホームページをご覧ください。
<http://www.jcp-niigata-shigidan.com/>

新・新潟市に 特に力を入れてほしいものは…

- 1位 高齢者福祉対策 38.8%
- 2位 保健・医療の充実 21.4%
- 3位 環境対策 19.8%
- 4位 防災対策 19.5%
- 5位 学校教育 18.6%

平成16年度市政世論調査（1万人アンケート）より



100条委員会でいつそうの責任追及を

ウソの証言をすれば偽証罪で告発もできる、百条委員会の設置こそ真相解明の決め手です

いました。

市民団体が提出した百条委員会の設置をもとめる請願は、自民・公明・社民などが先送りにしてしま

百条委員会は、自民・公明・社民が先送りに

「改革に消極的だった」と指摘された前三役の退職金は、あわせて一億九千四百万円も。それなのに、この人たちは三百三十三万円を市に寄附しただけで、責任は不問のままとなつていきます。

市が入札制度の改革をさぼりつづけたことで、工事費が高止まり。談合による市の損害は、四百億円ともいわれています。

**前三役に退職金
一億九四〇〇万円**

新潟市の官製談合問題は、市議会が前三役や議員などから事情聴取したものの、いずれも疑惑は否定したまま。真相はわからずじま

